



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社Geolocation Technology 上場取引所 福
コード番号 4018 URL <https://www.geolocation.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 敬介
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 山崎 陽子 TEL 055 (916) 0294
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の業績 (2023年7月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	180	△16.1	17	△73.9	17	△73.6	12	△73.2
2023年6月期第1四半期	214	11.5	66	△4.3	66	11.8	45	11.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	7.93	7.78
2023年6月期第1四半期	30.29	28.88

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	717	564	77.9
2023年6月期	703	559	78.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 558百万円 2023年6月期 554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	834	8.7	155	33.5	155	32.1	106	181.5	69.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	1,548,800株	2023年6月期	1,548,800株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	6株	2023年6月期	6株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	1,548,794株	2023年6月期1Q	1,514,402株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的な対応の位置づけが第5類へ移行し、社会・経済活動の正常化に向けた動きが強まりました。一方でロシアによるウクライナ侵攻の長期化による原材料価格やエネルギー価格の高騰や、円安の進行による輸入物価・消費者物価の上昇など、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような中、当社の属する情報サービス業界においては、企業及び自治体のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する需要は、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたより一層の事業拡大や事業構造の変革のための主要な施策の一つとして継続しており、関連する当社サービスの引き合いも堅調に推移しております。当社は今後も社会の環境変化を注視しながら、商機を着実にとらえて事業の拡大に結び付けてまいります。

当第1四半期累計期間においては、前事業年度中に採用した複数の営業担当者及び開発担当者の活動が本格化し始め、取引先数が減少したサービスのテコ入れや、他社との業務アライアンスの成果としての収益機会の拡大の兆しが堅調に見えてきており、今後さらに新規取引先獲得のための営業活動や既存サービスの拡充に努め、予算を着実に達成していく所存であります。当第1四半期累計期間の売上高は180,014千円（前年同四半期比16.1%減）、営業利益は17,427千円（前年同四半期比73.9%減）、経常利益は17,695千円（前年同四半期比73.5%減）、四半期純利益は12,286千円（前年同四半期比73.2%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(IP Geolocation事業)

IPアドレスに様々な情報を紐づけたデータベースの利用サービスである「SURFPOINT™」は、既存の取引先の安定的な継続利用に加えて、複数の顧客の利用増があり、前年同四半期と比較し売上高・顧客数ともに上回る実績を得ることができました。「SURFPOINT™」をWeb上で利用できる「どこどこJP」、Webサイトを訪問した企業のリスト化や経路分析など、本格的なウェブ解析を簡単に行うことのできる「らくらくログ解析」、スタンプラリーのサービス提供プラットフォームである「てくてくスタンプ」、インターネットユーザーのIPアドレスから位置情報や気象情報などを判定して効果的にターゲティング広告を配信するサービスである「どこどこad」の各サービスは、前年同四半期と比較し売上高・顧客数ともに減少しました。この原因は、「どこどこad」については、8月と9月にシステム上の不具合が発生したことによるものであります。なお、システムの不具合については復旧のめどがついており、第2四半期以降への影響は軽微なものと考えております。「web制作・各種受託開発」では民間企業のホームページ制作や広告運用を複数受注できたほか、警察庁の「サイバー技術専科委託教養」事業で売上高を大きく計上することができております。

これらの結果、当第1四半期累計期間における同事業の売上高は175,718千円（前年同四半期比6.6%増）、セグメント利益は13,842千円（前年同四半期比19.3%減）となりました。

なお、セグメント利益が前年同四半期比で減少しておりますが、これは人員増加に伴う費用の増加によるものが主な要因であります。

(IPアドレス移転事業)

予算で計画していた案件の仲介ができたことにより、当第1四半期累計期間における同事業の売上高は4,296千円（前年同四半期比91.4%減）、セグメント利益は3,584千円（前年同四半期比92.8%減）となりました。

なお、売上高及びセグメント利益が前年同四半期比で減少しておりますが、これは予算どおりの結果となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前事業年度末と比較して15,506千円増加し、671,140千円となりました。これは主に、現金及び預金が19,145千円増加した一方、前払費用が4,857千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末と比較して1,305千円減少し、46,428千円となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる長期前払費用が2,780千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して14,201千円増加し、717,569千円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末と比較して9,921千円増加し、151,221千円となりました。これは主に、前受金が7,587千円及び賞与引当金が7,770円増加した一方、未払法人税等が6,902千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比較して9,921千円増加し、153,561千円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末と比較して4,279千円増加し、564,007千円となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が7,743千円減少した一方、四半期純利益の計上等により利益剰余金が12,286千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,409	576,555
売掛金	70,205	71,392
貯蔵品	123	74
前払費用	25,735	20,878
その他	2,256	2,346
貸倒引当金	△97	△106
流動資産合計	655,633	671,140
固定資産		
有形固定資産(純額)	3,541	3,448
無形固定資産	11,497	11,769
投資その他の資産	32,696	31,210
固定資産合計	47,734	46,428
資産合計	703,368	717,569
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,376	2,048
未払費用	34,615	35,957
未払法人税等	15,366	8,464
賞与引当金	—	7,770
前受金	49,447	57,034
その他	39,493	39,947
流動負債合計	141,300	151,221
固定負債		
その他	2,340	2,340
固定負債合計	2,340	2,340
負債合計	143,640	153,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,186	229,186
資本剰余金	220,686	220,686
利益剰余金	104,608	109,150
自己株式	△8	△8
株主資本合計	554,473	559,015
新株予約権	5,254	4,991
純資産合計	559,727	564,007
負債純資産合計	703,368	717,569

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	214,536	180,014
売上原価	56,778	67,201
売上総利益	157,758	112,812
販売費及び一般管理費	91,049	95,385
営業利益	66,709	17,427
営業外収益		
受取利息	3	2
講演謝金	123	242
その他	0	23
営業外収益合計	126	268
経常利益	66,836	17,695
特別利益		
新株予約権戻入益	—	262
特別利益合計	—	262
税引前四半期純利益	66,836	17,958
法人税、住民税及び事業税	21,224	6,967
法人税等調整額	△257	△1,295
法人税等合計	20,966	5,672
四半期純利益	45,869	12,286

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	164,784	49,752	214,536	—	214,536
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	164,784	49,752	214,536	—	214,536
セグメント利益	17,148	49,560	66,709	—	66,709

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	175,718	4,296	180,014	—	180,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	175,718	4,296	180,014	—	180,014
セグメント利益	13,842	3,584	17,427	—	17,427

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。